

多摩川水系谷沢川・丸子川流域河川整備計画へのご意見等について

【谷沢川】

ご意見・ご提案（要旨）	回 答
谷沢川に分水路や雨水管を整備し、流域対策を推進することで、谷沢川流域の水害が早期に軽減されることを期待しています。	谷沢川では、流域対策も含めて1時間あたり75mm規模の降雨に対応できる河川の整備を目標としており、今後水害の軽減に向け、分水路の整備などを進めていきます。
等々力溪谷内の河道改修を行う際は、魚類などの生物が多摩川と谷沢川を行き来できるようにし、溪谷内の河川でたくさんの生物が見られるようになることを期待しています。	等々力溪谷下流の矢川橋から利剣の橋下流の間の河道において、落差工を改善し、生物の移動を容易にする整備を進めていきます。

多摩川水系谷沢川・丸子川流域河川整備計画へのご意見等について

【丸子川】

ご意見・ご提案（要旨）	回 答
<p>持続可能な仕組みとし“人にやさしいまちづくり”をコンセプトに、インフラとしての道路、河川、公園整備といったハードを中心に考えるのではなく、いかに多くの住民に対し癒しを与える空間にするかといった、人にやさしい空間づくりとしてハート中心の考えを基本コンセプトとしていただければ幸いです。</p>	<p>適切な維持管理により、緑化を図るとともに、関係機関と連携し親水施設などの機能を確保していきます。</p> <p>また、いただいたご意見は、今後の整備に関する貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>丸子川B流域は、既存の「水際部の植栽や水際へ降りる階段工などが整備されている場所」を中心に、①湧水源を保全し、②残された灌漑用水施設のひとつである“お鷹の塚”周辺を水のある広場として整備し、③道路と調和した植栽を充実させ住宅地内の散策ルートとして歩きやすい空間に整備し、④東屋風の休憩スポットなどを設置させたい。</p>	<p>①湧水の保全について関係機関と連携し、努めてまいります。②～④の整備に関わるご意見については、「お鷹の塚」の管理者など関係機関に伝えます。</p>
<p>丸子川B流域の多摩川台公園と多摩堤通り（車道）に挟まれた丸子川の水路や並行する遊歩道の構造や景観は早急に改修すべきエリアと考える。</p> <p>わずか、500m程度の長さであるが、川と道路の幅が狭いため、水路が暗渠化されたエリア、一部を暗渠化し上部に歩道を設けたエリアなどがある。統一感もなく景観的にも、水路や歩道としての機能や安全性などどれをとっても不合格と思います。</p> <p>従って、このエリアの水路や遊歩道が充分機能することと緑や水辺のある空間を確保していただきたい。</p>	<p>丸子川の当該区間は、道路管理者等関係機関と連携して河川環境の改善を進めていく必要があります、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>当面、区や道路管理者との適切な役割分担の下、老朽化の著しい箇所を補修を進め、安全性を確保していきます。</p>

ご意見・ご提案（要旨）	回 答
<p>“お鷹の冨”周辺の空間の快適さを維持できれば、住民の景観や環境に対する意識が変わり、自主的に景観保全活動に関わり、散策する機会も増えると期待できる。また、近隣住民とのコミュニケーションも芽生え、快適なコミュニティ空間や心の癒し場所になります。</p>	<p>活動する市民団体等を支援し、住民参加を推進するとともに、いただいたご意見は、今後の河川の維持管理に関する貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>住民・企業・行政が一体となって水辺を変える！ 生産年齢(65歳)を超えた住民の地域で暮らす時間も増加しており、多くの方々は地域への貢献も考えている。その方々の関心先が、水辺空間保全等の活動につながれば、行政負担の維持管理コストは大幅に削減すると考えられる。</p> <p>また、企業も社会貢献を意識しないと企業存続も難しい時代である。近隣企業も巻き込み、一緒に行動(協働)していくことが重要である。</p> <p>従って、これらのつながり(関係づくり)が、“住民・企業・行政が一体となって水辺を変える！”の推進力になると思われる。</p>	<p>活動する市民団体等を支援し、住民参加を推進するとともに、いただいたご意見は、今後の河川の維持管理に関する貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>“お鷹の冨”周辺の空間まずは、地元住民を優先とした整備事業であるが、マップ等に記載し情報公開すれば、住民だけに留まらず、近隣や遠方からの訪問者が増加することも期待できます。</p>	<p>河川に関する様々な情報についてインターネットや各種印刷物で提供し、河川整備及び河川愛護に広く理解が得られるよう努めてゆきます。</p>